not … until/not … before/only の語法

松　尾　文　子

0. はじめに

次の5つの文は，ほぼ同じことを述べていると考えられている。

(1) a. John slept *until* nine.
b. John did *n't* wake up *until* nine. —Declerck (1995 : 51)
c. John did *n't* wake up *before* nine.
d. John *only* woke up at nine. —Declerck (1995 : 53)
e. *It wasn't until* nine *that* John woke up.
—Declerck (1995 : 67)

(1a) では継続動詞と until が共起している。他ではいずれも瞬間動詞が用いられている。(1b) と (1c) では瞬間動詞が否定文で用いられており，Karttunen (1974 : 284) は (1b) の non-durative の until は (1c) のように before に置き換えても意味は変わらず，また，真理条件に関する限り両者は同じである (292) とする。Leech and Svartvik (1994 : 88) でも両者は同義であるとしている。さらに，*COBUILD English Usage* (742) にも次のように記されている。

(2) Details will not be available *until* January.
If something does not happen *until* or till a particular

time, it does not happen *before* that time.

(1b) と (1d) も意味的に等価である (Declerck 1995 : 55)。実際には，用いられる頻度は (1d) よりも (1b) の型の方が高い (Declerck 1994 : 324)。それは，only の焦点が時や場所の副詞類の場合，2つの解釈が可能で (Quirk *et al.* 1985 : 607)，曖昧性が生じるからであろう。したがって，(3a) は (3b) と (3c) の2通りに解釈される。

(3) a. She *only* phoned at five o'clock.
b. She phoned only once, viz at five o'clock.
c. It was five o'clock before she phoned (for the first time, but perhaps not for the last time). —Declerck (1994 : 323)

(3b) では5時に1度だけ電話した，(3c) では5時になってやっと初めて電話したが，それ以降にも電話したかもしれない，ということになる。

(1e) は (1b) を強調構文にしたものである。

小論ではこれらの文はほぼ同意であると考えられているが，はたしてそうなのか，違いがあるならどんな点が異なるのかを考察していく。

1. until

小論で取り上げるのは not … until の型であるが，比較のために until についても述べておく。

肯定文で用いられる until と否定文で用いられる until に関して，従来次のような考察がなされてきた。

(4) a. John slept *until* nine. [= (1a)]
b. * John woke up *until* nine.
c. John didn't wake up *until* nine. [= (1b)]
—Declerck (1995 : 51)

まず，2つのuntilは同じ，すなわちuntilには1つのタイプしかないという説である。[1] この説では，untilは全てdurativeである。(4a) の動詞は継続動詞であるから問題はない。(4b) では肯定文で瞬間動詞が用いられており，非文である。しかし，(4c) のように否定文になると容認される。この根拠は否定文は常に継続的である (Quirk *et al.* 1985 : 1081) ということである。瞬間動詞の否定形では，動作の停止の状態が表されるからである。この説では，否定のスコープは主節だけである。untilは全てdurativeであるという考えに立つと，(4b) では単一のできごとの読みしかできないので非文となる。

次に，untilには2種類あるという説である。[2] 1つはdurative *until*で継続動詞と共起し，もう1つはpunctual *until*で否定形の瞬間動詞と共起する。durative *until*はある状態が続く期間の終着点を示し，その文で表されている最短期間よりも長くその状態が続くことも可能である。一方，punctual *until*は問題のできごとが起こる時，すなわち期間の開始点を示し，否定的なコンテクストを必要とする否定極性項目 (negative polarity item) である。

(5) a. The princess slept *until* nine {*at the earliest. / at the latest.}

b. The princess did*n't* wake up *until* nine {at the earliest. / *at the latest.} — Karttunen (1974 : 287)

(6) a. The princess slept *until* nine {or longer. / or more.}

b. * The princess did*n't* wake up *until* nine {or longer. / or more.}

— *ibid.*

この説によると，(4b) が非文であるのは，wake upは瞬間動詞で継続の

読みが不可能であるし，until と瞬間動詞が共起できる否定的なコンテクストもないからである。また，1つの until 説と異なり，否定のスコープは文全体である。

2つの until 説を唱える Karttunen (1974) は，(4a) と (4c) のタイプの文の違いを次のように述べている。

(7) a. The princess slept *until* the prince kissed her.

b. The princess did*n't* wake up *until* the prince kissed her.

—Karttunen (1974 : 284)

(7a) と (7b) は事実上同義であるが，(7a) では王女の状態を肯定的観点 (sleeping) から述べ，(7b) では否定的観点 (not-waking-up) から述べている。

2. not … until

前節で until は全て durative であるという説と，until には durative なものと punctual なものとがあり，not … until は punctual *until* であるという説を紹介した。

これらに対して，Declerck (1995) は not … until は時を表す at と exclusive focuser の only の2つの異なる意味要素が統合され，語彙化された単一の語彙項目である —dual analysis と称している—とする。小論ではこれら3つの説の是非を論ずるのが目的ではないので詳細な議論はしないが，dual analysis を参考に，論を進めていく。

not … until の特徴を考えるのに，「実現」(actualization)，「除外」(exclusion)，「遅いこと」(lateness) をキーワードにする。

(8) a. John did*n't* wake up *until* nine. [=(1b)]

—Declerck (1995 : 51)

b. John did*n't* wake up *before* nine. [=(1c)]

c. John woke up at nine. —Declerck (1995 : 53)

(8a) は (8b) と (8c) を含意する。(8a) の論理形式は (8b) と同じで，真理条件に関する限りは (8a) の until は before と同じである。したがって，“A not until T” の論理形式は次のようになる。

(9) NOT (A BEFORE T) —Karttunen (1974 : 292)

なぜ (8a) は (8c) を含意するのか，「実現」をキーワードに考えてみる。(8a) で主張したい (より salient である) のは (8b) ではなく (8c) である。(8a) は次のように解釈される。

(10) a. John *only* woke up at nine. [= (1d)]
b. John woke up as late as nine. —Declerck (1995 : 53)

第 1 節で述べたように，not … until の until 句 (節) はある状態が続く期間の終着点を示すのではなく，問題のできごとが実現する開始点を示す。すなわち，John が目を覚まさないという状態の継続ではなく，John が目を覚ますということが「実現」した時を示している。実際，not … until の文は次のようにパラフレイズされている。

(11) I wo*n't* leave *until* Monday. (=on Monday, not before)
—Alexander (1988 : 132)

また，次のように時を尋ねる疑問文の答えにもなれる。

(12) When do you think he will come back? — *Not until* he's finished that job in Naples. —Declerck (1995 : 80)

ナポリであの仕事を終えた時に彼が戻ることが「実現」するという意味である。

本節の冒頭で，not … until は at と only の意味を語彙化したものであると記した。only は第 5 節で述べるように制限詞である。制限詞はその語のスコープ内にある文に相当する前提をもつ (Declerck 1995 : 55)。したがって，制限詞を含む 'John *only* woke up at nine.' ((1d) (10a)) は，'John woke up at nine.' ((8c)) を前提とする。よって，only の意味を語彙化した not … until を含む文 ((1b) (8a)) に関しても同様のことが言える。Karttunen (1974 : 293)は，"A not until T" を次のように表している。

(13) 論理形式 $\left\{\begin{array}{l}\text{NOT (A BEFORE T)} \\ \\ \text{A BEFORE T V A WHEN T}\end{array}\right\} \Vdash \text{A WHEN T}$

前提

'A BEFORE T' の部分が語用論的前提であると言う。not … until の文が問題のできごとが「実現」することを含意するというよりむしろ主張しているのは，次の例からもわかる。

(14) Do*n't* move *until* I tell you. — *CIDE*

この命令文では「合図するまで動くな」，つまり「合図したら動け」と主張していることになる。

次に「除外」について考えてみる。until 句 (節) が否定のスコープ内にある場合にのみ (8c) の解釈が可能である。until 句 (節) で示される期間に問題のできごとが起こることはなかった，すなわち until 句 (節) で示される期間を除外している。そしてこれは not による。ここでは，John が目を覚ますことが until 句で示される時 (9 時) を境界にして，それより前にはなかったと 9 時より前を「除外」していることになる。したがって，not は until 句 (節) を否定するのであり，John が目を覚ますという

ことの「実現」を否定するのではない。

(15) John did*n't* wake up *until* nine. *In fact, I heard later that he didn't wake up at all. —Declerck (1995 : 62)

(15)のように，Johnが9時に目を覚ましたことを否定するような文を続けることはできない。一方，until句（節）が否定のスコープ外にある場合には次のようになる。

(16) a. *Until* nine, John did*n't* wake up.
b. Until nine it was the case that John didn't wake up.
—Declerck (1995 : 62)

(16a)は(16b)のように解釈される。not … until型と同様に(16a)はJohnが9時に目を覚ましたことを含意できるが，それは会話の含意(conversational implicature)にすぎない。つまり，'until nine'という表現を用いるのが適切なのは，Johnが目を覚まさない状態が9時に終わった時で，その場合に情報性が最も高くなる。ただし，会話の含意はコンテクストによりキャンセル可能である。

(17) *Until* nine, John did*n't* wake up. I don't know about later, I heard later that he did not wake up after nine either. — *ibid.*

このように，Johnが9時に目を覚ますことの「実現」を否定できる。さらに，Johnが目を覚まさない状態が9時以降も続いたのであるから，9時より後の期間を「除外」していないことになる。

次に「遅いこと」を考える。(10b)からも明らかなように，not … until型の文(1b)と(8a)はJohnは9時に目を覚ましたが，それは予想していたよりも遅いこと（9時になってやっと目を覚ました）を含意する。この

ことは次の例からもわかる。次は until とほぼ同様に用いられる till の例である。[3)]

(18) He usually pays me on Friday but last week he did*n't* pay me *till* the following Monday.

— Thomson and Martinet (1986 : 89)

ふつうは金曜日に支払ってくれるのに，先週は金曜日ではなく翌月曜日になってやっと支払ってくれたというのである。

ここで not … until 型についてまとめておく。(1b) (＝(8a)) は次のような構造になる。

(19) a. John woke up [not until nine] .

＋

b. John woke up at nine.

(19a) では 'not until nine' で John が目を覚ますということが「実現」しない期間を表し，同時にこの文構造で 9 時より前にはそのできごとが実現しなかった「非実現」をも表す。[4)] (19b) では，John が 9 時に目を覚ましたことを表す。つまり，not … until 型の文で〈目を覚ましたのは 9 時より前の期間内ではなく，9 時までは（9 時より前の時間にはずっと）目を覚まさない状態が続き，9 時にやっと目を覚ました〉と言っているのである。

第 5 節で述べる only と異なるのは，問題のできごとが実現しない「非実現」の状態も話し手の頭にあるということである。したがって，次の例は飛行機が今日飛んで欲しいが明朝にならなければ出ないので困る，あるいは 5 時になったらやっと会えるけれどそれまでの期間は寂しいというような気持ちを話し手が抱いている時に用いるのではないか。

(20) My plane does *not* leave *until* tomorrow morning.

— *COBUILD English Grammar*

(21) I can*not* see you *until* five o'clock. — Frank (1993 : 163)

次の例は娘の Susan が殺されたことを聞かされた母親の様子である。夫の姿を見るまではずっと泣くのをこらえていたことがうかがえる。

(22) We sat in the kitchen with Susan's mother. Her back did not touch the chair. She did *not* weep *until* her husband walked in minutes later. — P. Cornwell, *Cruel and Unusual*

仮にこの文を when を用いて，夫が台所に入って来た時に泣いた，とすると，not … until 型がもつ緊迫感は失われるであろう。

3. It is not … until that ～

本節では not … until の強調構文を考える。

(23) a. John did*n't* wake up *until* nine. [＝(1b)]

— Declerck (1995 : 51)

b. *It* was*n't until* nine *that* John woke up. [＝(1e)]

— Declerck (1995 : 67)

(23a) と (23b) は同意であるが，違いは (23b) は強調される部分があるということである。(19b) で示した 'John woke up at nine.' の 'at nine' の部分が強調されており，'at t' に入る他の選択肢（ここでは 9 時より前の時）が話し手の頭にあるようなコンテクストで用いられる。強調構文の例をあげる。(24) では 2 人の息子が父親の生前の「大切なのはお金だけで，お金こそが生命体における血であり幸福の元である」という言葉を話題にしている。(25) は，Jennifer が新聞広告で職探しをしている場面である。

(24) "I kept hearing him say it, and it seemed so simple that I never really listened. *It* was*n't until* just recently *that* I began to understand." —S. Smith, *A Simple Plan*

(25) Jennifer bought a copy of *The New York Times* and began to search through the want ads. *It* was *not until* she was near the bottom of the page *that* she came across a small advertisement that read: *Wanted:/ Pr of man sh sm off w/2 oth/ prof men. Rs rent.* —S. Sheldon, *Rage of Angels*

'at t' に入る他の選択肢として，(24) では父親の言葉に耳を傾けなかった時のことが，(25) ではその広告に行き当たるまで探し続けていた時のことが述べられている。それに対して，強調構文ではない not … until 型では，このようなコンテクストは特に明示的には示されない。

(26) I put the game away while Sarah gathered all the hundred-dollar bills together and carried them back upstairs. I did*n't* realize how drunk my brother was *until* he stood up. He heaved himself out of his chair. —S. Smith, *A Simple Plan*

4. not … before

not … until 型の until を before に置き換えても意味は変わらないとされる。

(27) a. John did*n't* wake up *until* nine. [=(1b)]
—Declerck (1995 : 51)

b. John did*n't* wake up *before* nine. [=(1c)]
—Declerck (1995 : 53)

では，until を用いる文と before を用いる文とはどう違うのか。肯定文，否定文にかかわらず，また主節の動詞が瞬間動詞，継続動詞であるにかかわらず，until 句（節）で表される状況は一般的に事実であるという前提があるが，before 句（節）の場合は必ずしもそうであるとは限らない。

(28) Nancy did*n't* get married *until* 1974. —Karttunen (1974 : 290)

(29) I will wait *until* everyone { is back. / *will be back. }

—Declerck (1991 : 155)

(28) では Nancy は結局 1974 年に結婚したことになるが，before に置き換えると必ずしも結婚したことを含意しない。(29) は未来のことを述べているが，until 節で表されている状況は将来実現すると考えられている。

before を含む例文あげる。

(30) Sally stopped Ted *before* he had a chance to reply.

—Quirk *et al.* (1985 : 1081)

(31) I sent a donation *before* I was asked to. —*ibid.*

before 節で表されている状況は，(30) では事実であると解釈されるが，(31) では実現したともそうでないとも解釈できる。

ここで not … before 型についてまとめておく。(1c)（＝(27b)）は次のような構造になる。

(32) John not woke up [before nine] .

この型の文では〈9 時以前には（9 時より前のある時点に）目を覚まさなかった〉ことを表すが，not … until 型と異なるのは，9 時を過ぎてから目を覚ましたが，何時かは不明であるという点である。

5. only

まず，only という語について述べる。Quirk *et al.* (1985 : 604) によると，*only* は焦点化下接詞 (*focusing subjunct*) ―文の一部の要素に焦点を置き，その要素を下接詞によって明示する―である。焦点化下接詞には，伝達の内容が焦点となっているある特定の部分に限定されている場合 (制限的下接詞 (*restrictive*)) と，焦点となっている部分が追加的な場合 (追加的下接詞 (*additive*)) とがある。*only* は制限的下接詞の中の排除下接詞 (*exclusive*) ―伝達の内容の適用をもっぱら (*exclusively*) 焦点となっている部分に限る ― である。

only の中核的意味は「(ある基準となる 1 つのものがあり) それ以外，あるいはそれ以上の事 [物] がない」ことで，時を表す副詞句を強調して「つい [ほんの]…」の意味になる (小西 (編) (1989 : 1291))。

(33) I saw him *only* last week. (= 'no earlier than', 'as late as')
— Leech and Svartvik (1975 : 109)

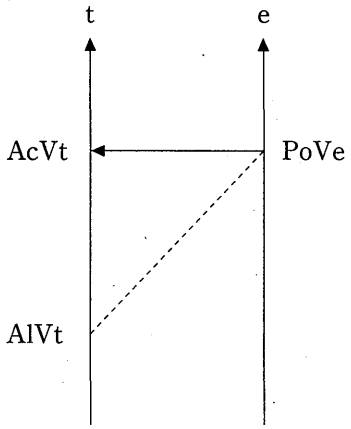
(33) のように「先週より早くない時に，他の時ではなく先週という時点にやっと」の意味になる。以上のことから only のもつ制限・除外の特質がわかる。

(33) のパラフレイズから明らかであるように，only には問題のできごとが起こるのが予想より遅いことも含意される。already と比較してみる。

(34) a. We were *only* back at five o'clock. — Declerck (1994 : 307)
b. We were *already* back at five o'clock.
— Declerck (1994 : 308)

(34a) は 'as late as five o'clock'，5 時になってやっと戻った，(34b) は 'as early as five o'clock'，5 時にはもうすでに戻っていたと解釈される。これを図示すると次のようになる。

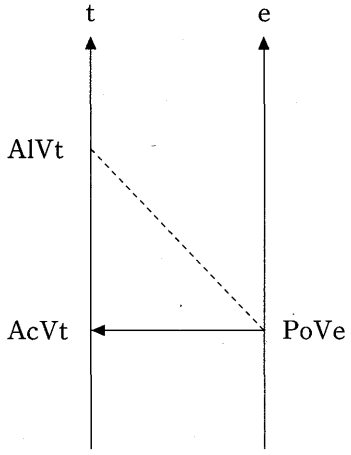
(35)



only

t : time
e : event
PoVe : the point of view from which the time is evaluated (referent point)
AcVt : the time corresponding with the PoVe
AlVt : the expected time
—Declerck (1994 : 312)

(36)

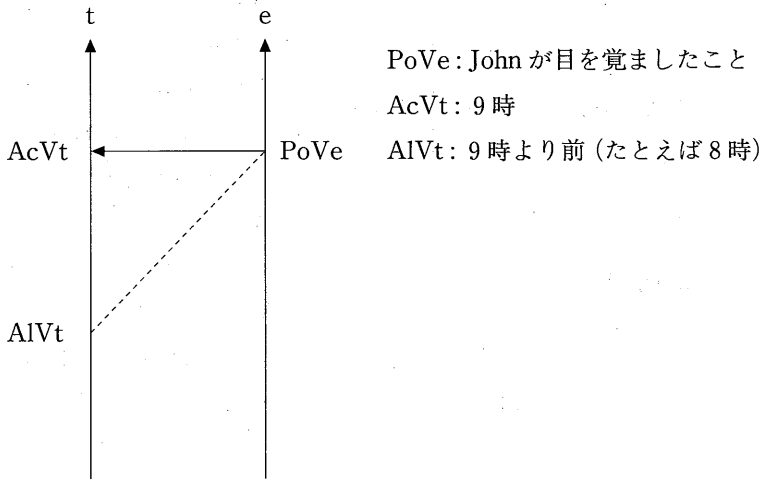


already

—Declerck (1994 : 311)

(35) の only ではそれぞれ，PoVe : 戻ったこと，AcVt : 5 時，AlVt : 5 時より前（たとえば 4 時）となり，予想より遅く戻ったことになる。(36) の already ではそれぞれ，PoVe : 戻ったこと，AcVt : 5 時，AlVt : 5 時より後（たとえば 6 時）となり，予想より早く戻ったことになる。これを (1 d) の文に当てはめると次のようになる。

(37) John only woke up at nine. [＝(1d)]



すなわち，John は予想より遅く目を覚ましたことになる。ここで注意すべきは John が目を覚ましたというできごとが定的な視点になっており，目を覚まさなかった状態は視野に入っていない点である。John が目を覚ますことが「実現」したのは 7 時や 8 時（すなわち 9 時より前）ではなく 9 時なのだと言っており，時間のことが話し手の頭にある。

only 型の構造を示すと，(1d) は次のようになる。

(38) John woke up [only at nine].

6. ま と め

ここまで(1)であげた文に関して考察してきた。便宜上，再び同じ例文を記す。

(39) a. John did*n't* wake up *until* nine.

b. John did*n't* wake up *before* nine.

c. John *only* woke up at nine.

d. *It* was*n't until* nine that John woke up.

(39a) の not … until 型では，〈John が目を覚ますことは 9 時までなく，それまで目を覚まさない状態が続き，9 時になってやっと目を覚ました〉ことを表す。目を覚まさない「非実現」の状態が続いた，目を覚ますことが「実現」した，実現した時間は予想より「遅かった」ことが含意されている。

(39b) の not … before 型では，〈John は 9 時より前には目を覚まさなかった〉ことを表す。何時に目を覚ましたかは不明であるが，とにかく 9 時より前の時点において目を覚ますことはなかったのである。

(39c) の only 型では，〈John が目を覚ましたのはようやく 9 時になった時だった〉ことを表す。目を覚ましたというできごとだけを問題にしており，それが予想より遅かった，と話し手の頭には時間のことがある。

(39d) の not … until 型の強調構文は，焦点部分と対照させられる項目がコンテクストに明示（あるいは暗示）されている場合に用いられる。

以上，それぞれの型の特質が明らかになった。

注

1） Klima, Edward (1964), "Negation in English," in Katz, J. and J. Fodor (eds.), *The Structure of Language,* Prentice-Hall, Inc., Smith, Steven B. (1974), *Meaning and Negation*, Mouton などが主張している。

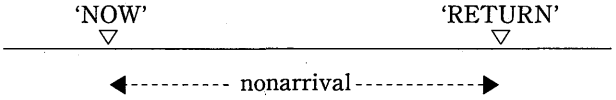
2） Lakoff, George (1969), "A syntactic argument for negative transportation," in R. I. Binnick et al. (eds.), *Papers from the* 5*th Regional Meeting of the Chicago Linguistic Society,* Chicago Linguistic Society, Karttunen (1974), Horn, Laurence (1978), "Some aspects of negation," in J. Greenberg (ed.), *Syntax,* Stanford University Press, Horn, Laurence (1978), "Remarks on neg-raising," in P. Cole (ed.), *Pragmatics*, Academic Press などが主張している。

3） 小西 (1976 : 107-108) によると，till と until はしばしば交換して用いられる。両者の違いはおおむね次の通りである。(1) until の方が堅い (formal)

書きことばなどのレベルで用いられる傾向がある (2) 文頭では until の方が好まれる (3) 否定文では till が，肯定文では until が好まれる。ただし，いずれを用いるかは，リズム・好音調・好みなどさまざまな要素に左右される。

4) Quirk *et al.* (1985 : 534) は，not … until の構文で瞬間動詞を用いると，until 句（節）は瞬間的行為が起こらない範囲を表すとする。

He did*n't* arrive *until* I returned.



参考文献

Alexander, L. G. 1988. *Longman English Grammar*. Longman.

Cambridge International Dictionary of English. [*CIDE*]

Collins COBUILD English Grammar . Collins.

Collins COBUILD English Usage . Collins.

Declerck, R. 1991. *A Comprehensive Descriptive Grammar of English.* 開拓社.

Declerck, R. 1994. "The *only/already* puzzle : A question of perspective." *Cognitive Linguistics* 5-4, 307-350.

Declerck, R. 1995. "The problem of *not … until." Linguistics* 33, 51-98.

Frank, M. 1993. *Modern English.* Regents/Prentice Hall.

Karttunen, L. 1974. "Until." *CLS*, 284-297.

小西友七. 1976.『英語の前置詞』 大修館書店.

小西友七 (編). 1989.『英語基本形容詞・副詞辞典』研究社出版.

Leech, G. and J. Svartvik. 1975, 1994[2]. *A Communicative Grammar of English*. Longman.

Thomson, A. J. and A. V. Martinet. 1986. *A Practical English Grammar.* 4th Edition. Oxford University Press.